

こわ〜いお話

▶ 2024.2.8(木)

A : 「こわ〜いことがあったのっ。」

B : 「…」

A : 「就職試験の面接にいったのよ。」

B : 「うん、それで？」

A : 「面接が終わって、部屋を出ようとする時、
係官が”こちらからどうぞ”とドアを示すの。」

B : 「それは、そうでしょうね。」

A : 「それでね、
そのドアを開けたら、真っ白な壁しかないの！」

B : 「ドアでしょ？
ドアの外は、廊下とは部屋とかでないの？」

A : 「でなくて、真っ白な壁になっているの。
変だなと思って、さっき面接してくれた人達を振り返ったの！」

B : 「その人達は、なんと言ったの？」

A : 「いないの、だれも…
机も椅子もなにもなくて、真っ白な空の部屋だけしかないの！」

B : 「う〜っ、それって怖いね！」

A : 「変だなと思い、もう一度ドアを見たの。」

B : 「はやり、白壁？」

A : 「いや、ドアの外には廊下があって、玄関までつながっているの。」

B : 「それも、また怖いわね。」

A : 「振り返ると、
さっき、面接をしてくれた5、6人の面接官がこちらを見ているわけ。」

B : 「う〜っ、それも怖い！」

A : 「何かの見間違いかな、と思って、その日は帰ってきたの。
それで、1週間後に、合格通知がきて、こんどの月曜日の午後1時に会社に
きて欲しいと連絡してきたの。」

B : 「よかったじゃない！」

A : 「それがねえ、
月曜日の午後1時に、面接をした会社にでかけたわけ。」

B : 「うん、それで…」

A : 「ないの！」

B : 「え？
なにが？」

A : 「その会社！」

面接にいった会社があったところは、草ボウボウの原っぱなわけ。」

|メニューへ戻る|

B : 「え！

それ，超恐い！」

A : 「変だなあ…

でも，ないものはないので，そこにいてもしょうがないからお家に帰ってきたの。」

B : 「ということで…

お話は，そこまで？」

A : 「んでねえ！

そこからがまた恐い！」

B : 「まだ，あるの？」

A : 「お家に帰ってくるとすぐに，その会社からお電話があつてね，”どしてこないんだ”って…。」

B : 「ふつうだったら，そうだよな。

約束の時間に会社にいかないんだから。」

A : 「それでね，

”行ったんですけど，会社がなかったものだから帰ってきました。”と言ったらね，その会社の人は何と言ったと思う？」

B : 「う～ん，

存在しない会社の社員からのお電話ですか…

これは，恐いですねえ…」

A : 「あのねえ！

”もう一度来て下さい。”って。

ちゃんと会社はあるわけ。

街のど真ん中なんだし，広い原っぱなんかあるわけないでしょうが…。

受付を通して社長に会い，あすから入社して下さいって。

B : 「次の日に出社したら，会社がなかったんでしょ？」

A : 「そう，よくご存知で…」

B : 「う～ん？？？」

…

A : 「というようなお話など…

あるわけないわな！

ぎやははは…」

B : 「むっ，むっ，むっ！

もう，絶交！」

じゃんじゃん！